

提出 順番	No. 5	令和 4 年 2 月 25 日 午前・午後 10 時 32 分受領
----------	----------	--------------------------------------

令和 4 年 2 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 町民参加のまちづくりの推進を	<p>平成 12 年 9 月、まちづくりにおける町民参加の基本的な事項を定めた「幕別町まちづくり町民参加条例」が制定された。同条例は町民と町が協働し、地域社会の発展を図ることを目的とし、条項の中で町的意思形成の段階から町民の意思が反映され、町が行政執行する段階から町民と町が協働することを謳っている。</p> <p>住民参加については、平成 30 年度を初年度とする「第 6 期幕別町総合計画」の基本計画においても、町民が参加しやすい環境づくりのための施策の方向性として、①「各種審議会をはじめとする附属機関委員の公募によって、女性や若者など幅広い町民の参画を進める」、②「パブリックコメントやワークショップを開催するなど、施策等に対する意見を聴く機会の拡充を図り、一層の町民参画を促進すること」、の 2 点を示している。</p> <p>「自分たちの地域は自分たちで守り、創る」を基本に、町民ひとりひとりが当事者となり、地域のことを考え、その発想を自ら実践する住民自治の取り組みは、今後ますます重要である。</p> <p>については以下の点について伺う。</p> <p>(1) 町の執行機関は附属機関の委員の任命にあたっては、定数のおおむね 3 割を目標に公募により委員を選考するよう努めるとされている。それぞれの附属機関が幅広い町民の参画となっているのか。</p> <p>(2) 毎年 2 月の「広報まくべつ」で改選期を迎える附属機関の委員を公募しているが、町民からの応募の状況はど</p>

<p>2 北海道科学大学との連携協定を町の発展に生かして</p>	<p>うか。</p> <p>(3) 昨今の町の施策に対するパブリックコメントの件数はどうか。</p> <p>(4) 附属機関やこれに類するものの会議は公開するとされているが、公開の方法は。</p> <p>平成 25 年 6 月、幕別町は北海道工業大学（翌年、北海道科学大学に名称変更）と連携協定を締結した。この協定は幕別町と北海道科学大学がお互いに人的交流をはかり、地域の発展に貢献することを目的にしたものである。</p> <p>具体的には、①人材育成、②地域づくり、③産業振興、④保健福祉の向上、⑤教育、文化及びスポーツの振興、⑥その他大学及び町が協議して必要と認める事項、それぞれに関することを連携協力事項としている。</p> <p>協定提携から数年間は「ものづくり体験教室」、「幕別町コミュニティカレッジ」など、様々な連携事業が開催されてきた。</p> <p>町の様々な課題解決のために、大学機構のような研究機関との連携協定は今後ますます重要になってくると考える。町が取り組む方向を学術的に示してくれるものとなると考える。</p> <p>については、以下の点について伺う。</p> <p>(1) これまでの北海道科学大学との連携協定の成果は。</p> <p>(2) 北海道科学大学との連携協定の今後の課題は。</p>
----------------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。